

旧石器八テナ館だより

せんとうき
尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器八テナ館
(史跡田名向原遺跡)
旧石器時代学習館

神奈川県相模原市中央区
田名塩田 3-23-11
042 777 6371

平成 26 年 6 月 13 日
【第 23 号】

文化財探訪

5月31日(土)開催

真心さまと出逢う旅

今回の文化財探訪は、旧石器八テナ館から少し離れて、主に下溝周辺を巡りました。市内からはもちろん、八王子市や遠くは埼玉県川口市からという方もいて、田名向原遺跡案内・普及事業実行委員会のボランティアや文化財保護課の職員から解説を聞きながら、26名の参加者が約4kmの道のりを歩きました。



天応院

いわれる天応院へ向かいました。ここには真心尼のお墓があります。続いて訪れた福田家では、市登録有形文化財である長屋門をくぐり、真心尼の家臣として先祖代々供養し守り続けてきた彼女の位牌を、特別に見せていただきました。さら



山中貞心神社

「^{ていしん}真心さま」は、小田原北条氏四代氏政の弟である氏照(八王子城主)の一人娘で、北条家の家臣山中大炊助に嫁いでから、今の下溝堀之内に屋敷を構えたといわれる女性です。出家して「真心尼」と呼ばれました。これまでほとんど紹介されることはなかったので、今回の探訪で初めて知るとい方が多かったようです。

JR 原当麻駅をスタートし、最初は彼女が再興したと



福田家

に、家臣たちが主人を偲んで祀ったものと思われる山中貞心神社や、真心尼の屋敷の鬼門を守ったと伝えられる山の神社にも立ち寄りしました。

後半は、勝坂式土器がたくさん見つかった縄文時代中期の下溝遺跡群や、現在遊歩道として整備されている横浜水道のトロッコ道跡(水道みち)を歩き、最後は観心寺で解散となりました。

当日は5月とは思えない真夏のような暑さでしたが、参加者のみなさんは熱心に解説に耳を傾け、下溝周辺の歴史に触れる約2時間半の小さな旅を楽しみました。

定例体験教室

河原石で石器作り

毎月第3日曜日に開催している定例体験教室。5月18日は、相模川の河原で石器作りを行ないました。市内外から、26名の参加者が集まりました。

最初に館内で石器と作り方などについて学んでから、相模川の河原に下りました。やや風が強く、川に入りたくなってしまいうくらい暑い日でしたが、みなさん真剣に石器作りに挑戦しました。



河原に無数にある石の中から、石器作りに適したものを選ぶのはなかなか難しく、やっと選んだ石を思い通りに割るのはさらに難しい作業でした。それでも最後は、子どもはもちろん大人からも、「とても楽しかった!」「もっと時間が欲しかった!」という声が聞かれました。



夏のイベント情報



7月から9月の間に開催予定の行事をご紹介します。いずれも、「市制60周年 文化財関連施設イベントスタンプラリー」の対象となります。事前申込が必要なものもありますので、詳しくは旧石器ハテナ館までお問い合わせいただくか、市のHPまたは広報「さがみはら」をご覧ください。

みなさんのご参加をお待ちしています!

7月

20日(日)
定例体験教室
「弓矢作り」
21日(月・祝)
夜の昆虫観察会

8月

17日(日)
定例体験教室
「勾玉作り」
24日(日)
八瀬川探検・魚観察

9月

13日(土)
旧石器ハテナ館まつり
21日(日)
定例体験教室
「土器作り」